

質問事項に関する回答書

(件名)磐越自動車道 龍ヶ嶽トンネル工事

番号	日付	資料の種類	ページ	章の番号等	質問事項	回答
1	3月5日	参考図 参考図 設計業務成果品 REPORTOX	13/25 3/25 P8-22		<p>【DIIIa-A(H)-Kの掘削サイクルタイムについて】 ・参考図 13/25 工事工程表にDIIIa-A(H)-Kの掘削サイクルタイムとして49m/月の記載があります。 設計業務成果品(REPORTOX)第8章施工設備計画 P8-22 掘削サイクルタイム表にDIIIa-A(H)-Kの計算がされており、掘削断面積A1、A2の値がそれぞれ78.7m²、81.9m²の記載がありますが、参考図3/25 加背割図にはそれぞれ85.658m²、88.925m²の記載があり、相違があります。 また、同様にインバート1m当り吹付面積も掘削サイクルタイム表には9.572mの記載がありますが、加背割図には11.990mの記載があり、相違があります。 上記の加背割図の数値にて掘削サイクルタイムを試算すると47m/月となります。 掘削サイクルタイムの掘削断面積とインバート1m当りの吹付面積は、参考図の加背割図の数値を採用すればよろしいでしょうか、それとも設計業務成果品の掘削サイクルタイムの表の数値のまますればよろしいでしょうか。ご教示願います。</p>	参考図3/25 加背割図の数値を正とし、D IIIa-A(H)-Kの掘削サイクルタイムは47m/月でお考えください。
2	3月5日	入札公告 (説明書)			質問の受付期間が5月1日となっており、入札日(7月10日)の約2ヶ月前の〆切となっています。5月1日までに全ての質問をさせていただることは難しいと思いますので、質問受付期間を延長していただけないでしょうか。	当社「契約事務処理要領」(HP公表)に基づき、質問受付期間を設定しておりますので、期間の延長は出来かねます。
3	3月5日	技術評価項目及び 技術評価基準、 技術提案関係様式2			<p>技術評価項目及び技術評価基準の留意事項において、技術提案書に記載できる技術提案数は求める評価項目ごとに1提案までとし、A4版1頁で記載することと記載されています。 また、技術提案関係様式2では、1技術提案につきA4版片面1頁で記載することと記載されています。 技術提案書の作成にあたり、A4版片面1枚で全て記載するのか、1技術提案につきA4版片面1枚で記載するのか、ご教示願います。</p>	1つの評価項目ごとに片面A4版1枚となります。 なお、技術提案書様式2には、技術提案が2つ記載可能となっていますが、「技術評価項目及び技術評価基準 評価項目留意事項①」に記載のとおり、技術提案数は、評価項目ごとに1提案までとしております。不要箇所は削除いただいて問題ございません。
4	3月5日	技術評価項目及び 技術評価基準			トンネル施工時におけるお客さま避難路の安全確保と誘導方法に関する技術提案を作成するにあたり、現地の避難坑を見学させていただくことは可能でしょうか。見学ができない場合、現状の避難坑内の写真等をご提供いただくことは可能でしょうか。	現地の避難坑へは本線より進入しなければならないため、ご案内することは出来ません。したがって、設計図(トンネル編)支保パターン図及び避難連絡坑一般図等避難坑に関する図面等を参考にご提案ください。なお、避難坑内には既設照明として約50m間隔で蛍光灯が設置しております。

番号	日付	資料の種類	ページ	章の番号等	質問事項	回答
5	3月5日	競争参加要件 設定調書			<p>現場代理人、主任技術者又は監理技術者(当該工事に配置する特例監理技術者または監理技術者補佐の場合を含む)のうち、いずれかの者が、平成20年度以降に元請として完成及び引渡しが完了した下記同種工事の施工経験を有すること。</p> <p>a)NATM工法により施工したトンネル工事</p> <p>と記載されていますが、トンネル延長や内空断面積は問われないという理解でよろしいでしょうか。ご教示願います。</p>	そのとおりです。
6	3月5日	技術評価項目及び 技術評価基準			<p>トンネル施工時におけるお客さま避難路の安全確保と誘導方法に関する技術提案を作成するにあたり、お客さまの避難方法の標準案をご教示願います。</p>	<p>技術提案内容に関して標準案をお示しすることはできません。「安全通路整備工」は数量検測を行う契約項目であり、提案内容に関わらず当社が必要と定めたものです。それ以外でお客さま避難路の安全確保と誘導方法に関する内容をご提案ください。</p>